

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

②施設・事業所情報

名称：新山下二丁目保育所	種別：認可保育所
代表者氏名：園長代理 小林 千恵	定員（利用人数）： 90名（98名）
所在地：〒231-0801 横浜市中区新山下2丁目3番地の1	
TEL：045-628-0819	
ホームページ： https://www.kyosaikai.jp/	

【施設・事業所の概要】

開設年月日 2005年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）： 社会福祉法人 神奈川県匡済会		
職員数	常勤職員： 15名	非常勤職員： 15名
専門職員	社会福祉士 1名	幼稚園教諭免許 19名
	保育士 23名	
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)
	保育室6室、調理室1室、職員休憩室1室、事務室1室、相談室1室、ホール	○1階ホール・0歳児クラス・1歳児クラスに床暖房設備 ○0歳児室内に沐浴設備 ○各トイレ・2階バルコニー・園庭・乳児用園庭に温水シャワー設備 ○厨房内に給食用昇降機 ○建物構造が鉄筋コンクリート造（耐震構造） ○保育所内の窓は強化ガラス ○24時間作動の防犯カメラ設置（3台）、セコムの契約警備

③理念・基本方針

基本理念

あらゆる人の尊厳を守り 常に人が人として 文化的生活を営めるよう その自立に向けた支援に努める

保育方針

しなやかな心と身体を培い自立した子どもを育む

保育目標

- ①心身ともに健康で思い切り遊べる子ども
- ②一人ひとりが、しっかり自己主張をしながら集団の中で工夫し、考え行動できる子ども
- ③友達が大好きで思いやりのある心を持ち、感性豊かな子ども

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・子どもたちの健康な体作りを柱として、はだし保育、散歩、どろんこ遊び、全身を使ったリズム運動、手遊び等、各年齢にあわせて行います。
 - ・「自己肯定感」を育むことを意識しての配慮
- ①一人ひとりの子どもの思いに寄り添った保育
 - ②ダイナミックに身体を動かす保育
 - ③好きなあそびを十分に心ゆくまで楽しむ

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年6月12日（契約日）～2021年2月17日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2015年度）

⑥総評

◆特に評価の高い点

●保育士に見守られ、子どもたちはのびのびと自分の思いを表現し、園生活を楽んでいます

園は、子どもが様々な経験を十分にし、生き生きのびのびと園生活を過ごせるよう支援しています。

保育士は、子どもに寄り添い、一人ひとりの子どもに合わせた言葉で話しかけて子どもの言葉を引き出し、子どもが自分の思いを言葉で表現できるように働きかけています。4・5歳児は自分たちで話し合い、行事の内容を決めて行う経験もしています。雨でなければ毎日園庭で遊んだり、近隣の散歩に出かけ、追いかけてこや縄跳び、竹馬などで思いっきり身体を動かしたり、友だちと一緒にごっこ遊びを楽しんだりしています。朝夕の自由遊びや園庭遊びなど異年齢の関わりも多くあり、お互いを思いやる気持ちが自然に育っています。保育士に見守られ、子どもたちは様々な経験をし、園生活をのびのびと楽んでいます。

●職員は、子どものためにという意識を共有し、連携して保育しています

職員会議には、クラス担任だけでなく、フリーで動く常勤職員や非常勤職員も参加し、子どもの様子について共有し、自己の保育の振り返りをしています。課題についての話し合いの機会を多くもち、対応について協議・検討することで、職員は子どものためにという意識を共有し、クラスを超えて助け合う、風通しの良い雰囲気を作られています。職員の提案や気づきを、保育の質の向上や業務の効率化に生かした事例も多くあります。今回のコロナ禍では、子どものために今何ができるかについて協議を重ね、夏祭りや遠足、お泊まり保育、お楽しみ会などの行事も形を変えて実行しています。

●地域の施設として、地域に根付いています

園は、地域の公園や遊歩道の清掃をしたり、自治会のお祭りの手伝いをするなど、地域との関係作りに力を入れています。老人施設への訪問や地域住民を先生に迎えてのお茶会など、子どもたちが地域と交流する機会が多くあり、子どもたちは地域住民に優しく見守られ、様々な経験を重ねています。地域への子育て支援にも力を入れていて、子育てひろば私立常設園として、専任スタッフを配置し、地域の親子に向けて園庭開放、園舎開放、子育て相談、絵本の貸し出し、リトミックやお話会などの交流行事を行っています。特に園庭開放は人気で、観察時にも密にならないように時間帯を工夫して行っていて、多くの親子が訪れている様子を見ることができました。

◆改善を求められる点

●園の目指す姿を中長期計画としてまとめていくことが期待されます

現在、運営法人としてプロジェクトを立ち上げ、長期ビジョンの策定を目的に、今後10年後のあるべき姿というテーマで職員も参加して話し合いを進めています。今後は、策定された長期ビジョンを基に、具体的な成果や目標を設定し、中・長期計画としてまとめていくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

3回目の受審となりました。今までに経験したことのない感染症対策をしながらの受審でしたが、前回、前々回を経験している職員も多く、混乱なく進められた点に当園のチームワークの良さを実感しました。

経験年数が1～20年以上と、幅があることを活かしてグループ分けをし、4～5人の小グループで各自の自己評価のすり合わせからスタートしました。その中で若い職員から質問され、ベテラン職員が答えられず、改めて勉強なおしたり、一緒に考え合う機会が持てたことで、チームワークがより強化されました。

また、1年目の職員が自己評価に真剣に取り組み、「今もできているけど、もっと良くしていける」という思いを持っていることがわかりました。これは、日常の保育や会議だけでは汲みとれないことでした。

保護者アンケートからは、高い満足度が伺えるコメントもいただきましたが、そこに甘えず、特にコロナ禍においては、適切に情報発信をしてまいります。ヒヤリングの中でご助言いただいた保護者へのメール配信システムも整い、感染予防対策としては、歯磨き指導の一時中止、必要に応じての園児マスク着用、懇談会を紙面版とし家庭とのやり取りをするなど、その時々で保育の見直しをしています。新しい生活様式を踏まえての保育運営が続くと思われませんが、「子どもの最善の利益」を第一に、保護者の皆様にとっても安心できる保育所、職員にとっても働きやすい職場を目指し、チームワークを武器に新山下二丁目保育所がより良くなりますよう努めてまいります。

新山下二丁目保育所

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり